

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

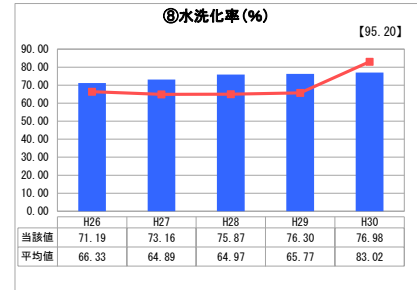
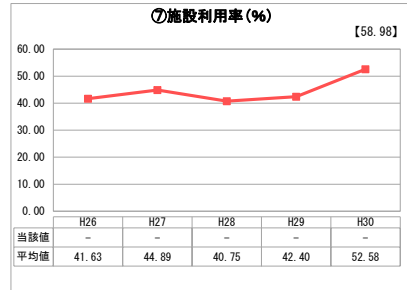
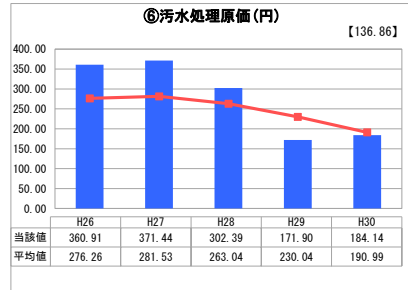
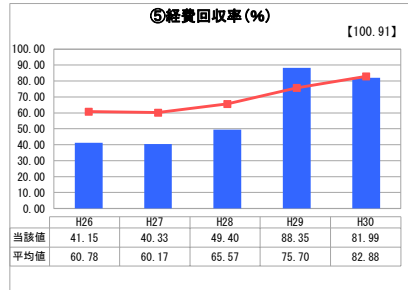
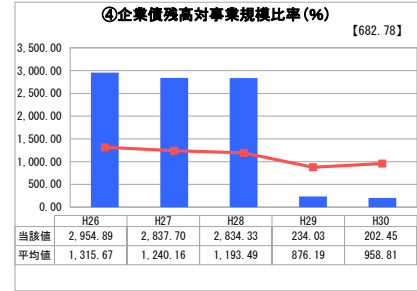
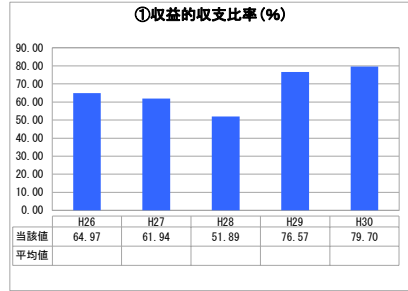
福岡県 鞍手町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	49.86	97.51	3,024

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
16,078	35.60	451.63
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,967	2.83	2,815.19

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率  
分流式下水道等に要する経費の増加により一般会計繰入金が増え、収益が増したため、比率は改善している。
- ④企業債残高対事業規模比率  
一般会計負担額の増加により下水道事業の負担が減ったため、前年に引き続き低水準となっている。現行水準での整備を続けると企業債残高の増加は続くものの、処理区域の拡大により収益の増加も見込まれるため、低水準で推移する見通しである。
- ⑤経費回収率  
汚水処理費に係る経費が増加したことで前年より回収率は減少しているが、処理区域の拡大により年々使用料は増加するため、経費回収率は改善傾向となる見通しである。
- ⑥汚水処理原価  
維持管理経費の増加により、前年より増加しているが、処理区域の拡大により有収水量の増加が見込まれるため、今後は減少傾向となる見通しである。
- ⑧水洗化率  
高齢者のみの世帯の増加により、水洗化が進んでいない状況にある。啓発活動により水洗化率の向上に取り組む必要がある。

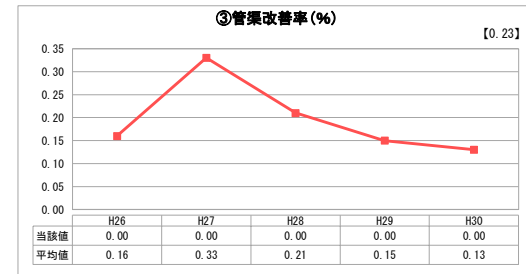
### 2. 老朽化の状況について

平成15年7月に供用開始をしたため、更新時期を迎えた管渠はないが、将来発生する更新事業費はストックマネジメント計画に基づいて平準化・削減を図る必要がある。

## 全体総括

令和3年度に法適化を予定しており、今後は法適化による数値の見える化に伴い、更なる経営分析を行う必要がある。  
また、事業推進に当たっては、人口減少など社会情勢の変化に対応できるように行う必要がある。

## 2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。